

## 公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 会報

ろくえん  
鹿苑 ニュース

No. 288

2023 年 3 月 10 日発行

発行所：公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 発行人：高谷 英明 編集人：高田 太輔  
〒634-0076 奈良県橿原市兵部町 2-9 フレガビル 4 階 TEL 0744-24-6270

## 巻頭言

## 組織関係及び公益事業に思うこと



公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 組織委員長 辻村 恭平

早いもので新しい年・卯年を迎え、一ヶ月が過ぎました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

2019 年 12 月に中国で初めて報告された「新型コロナウイルス感染症」はいまなお世界的な流行を見せています。日本においても第 8 波が報告され奈良県でも新規感染者は引き続き高い水準で確認されておりまだまだ予断を許さない状況が続くと考えねばならないようです。しかしそのような現状において、日頃から本会の活動にご理解、ご協力いただき心からお礼申し上げるしだいです。

さて、私が会務として任命された組織関係及び公益事業について 3 年間を振り返ってみたいと思います。言うまでもなく組織委員会としての活動は、「現地開催で成り立つ」というのが大前提でした。そのため活動の中止や延期という前例のない事態に見舞われました。この苦しい状況を打破するためには、どうすべきか。まさに組織委員と協働して新たな方向性を模索しました。その答えは会員の皆様ご承知のとおり Web 開催というものでした。しかしながら公益事業に関しては、骨密度測定のように現地開催でないと対応できないものがありやむなく中止せざるを得ませんでした。このダメージの大きかった 3 年間を今後はどう生かしていけばよいのでしょうか。私としての一つの見方は、原点回帰という思いです。高谷会長が就任のご挨拶で述べていた「診療放射線技師資格を持つ職能団体として」この原点回帰です。では職能団体の役割は何なのでしょう。それは自分たちの職種を守るためであり、社会に対してはその責任を果たすことだと思います。結果として、社会からの信頼が得られ認知度もあがっていくと考えます。会の新たな在り方を模索する必要がありますが、基本的な活動を継続していくことに変わりはありません。今春から新型コロナウイルス感染症は、「2 類相当から 5 類に引き下げると決定」との報道があります。まさに職能団体のアピールの場である公益事業は、現地開催を中止することなくすすめる環境が整ったと思います。

今後の事業展開としては、会報だけでなくオンラインの活用を見直し多角的に情報を発信していく方向性ですすめます。最後になりましたがより多くの会員の皆様に参加していただけるよう執行部として努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

奈良県診療放射線技師会のホームページでは  
今号の鹿苑ニュースをカラー掲載しています。  
こちらの QR コードからでもご覧いただけます⇒



## 告示研修（実技研修）って、どんなことをするの？

2023 年 2 月 25 日(土)、奈良県立医科大学で開催いたしました第 3 回診療放射線技師法一部改正に伴う令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修における実技研修（以下、実技研修）にて、広報として取材させていただきました。「実技研修って、どんなことをするの？」という疑問に答えさせていただきます。

AM 9 : 00 座学：動画の視聴

- ▶ 実習を行う前に、動画を視聴して頂きます。
- ▶ 動画の内容は、以下の通りです。
  - ・法令改正により業務が拡大される手技について
  - ・各手技の手順や注意事項
  - ・実習の手順と流れ



### 法令改正に関する内容

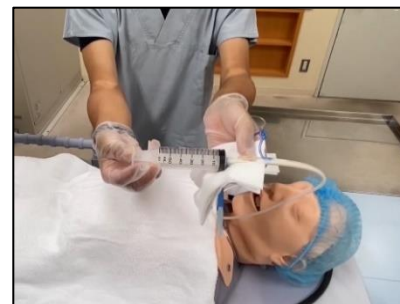
1. 病院等※1以外の場所において業務を行うことができる検査に超音波検査が追加された。
2. 病院等※2以外の場所で医師等の立ち会いなしにエックス線の照射を行うことができる検査に乳がんの集団検診におけるマンモグラフィー検査が追加された。
3. 放射線の人体に対する照射又は画像診断装置を用いた検査に関連する行為が追加された。

※1：医師又は歯科医師  
※2：病院又は診療所

参考：国は診療放射線技師に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について（令和3年2月9日 官報第6700号（第2頁））

### 静脈留置針による血管確保

京都大学医学部附属病院 看護部



- ▶ 午前の動画で各手技のポイントを留意し、午後からの実習に臨んで頂きます。

その頃、実習会場では、

ファシリテータが会場設営、物品準備など、実習に向けて着々と準備を進めています。





## PM 1:30 実習：グループに分かれて実技

- ▶ 午後からは、グループに分かれて各手技の実習を行います。
- ▶ 各手技のブースで、ファシリテータが説明し、実演します。
- ▶ その後、2 人 1 組のペアで実習を行っていく流れです。
- ▶ 各手技にファシリテータが担当しており、手技によっては、医師や看護師の講師が指導いたします。
- ▶ 手技に対する不明点や疑問点があれば、何でも質問していただき、不安を少しでも無くしていただければと、思っております。



講師・ファシリテータの紹介

## ①動脈実技

手袋とガウンの着用、ドレープの広げ方、物品の準備（カテーテルの受け取り、エア抜き、耐圧造影チューブ接続など）をまず、医師がレクチャーします。その後、ペアに分かれ実習を行います。



## ②静脈実技

穿刺時の声掛けや確認事項、注意点について、手順に沿って看護師がレクチャーします。穿刺用のファントムを腕に巻き、血液を模した液体を使用するので、リアル感のある実習になります。



## ③上部実技

鼻腔カテーテルから造影剤を注入する手技について、実習を行います。シリンジとの接続、テープ固定、造影剤の注入時の注意点、抜去時のポイントについて、ファシリテータが解説します。



## ④下部実技

下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査含む）時、注入した造影剤、空気を吸引する手技について。カテーテルの挿入から固定、抜去、破棄の流れを実習します。声掛け・配慮が重要になります。



## ⑤ 静脈(RI)・RI 実技

核医学検査において、静脈路の確保後、放射性医薬品シリンジと接続、生食でフラッシュする手技について実習します。放射性医薬品により汚染するため、非汚染/汚染の区別が必要になります。



## ⑥ 静脈(CT・echo・他)

造影 CT 検査時の静脈路確保から造影シリンジ接続、投与における手技について実習します。ここでは特に、患者に対する説明（患者確認、造影剤の注入時、副作用について等）を実習します。



## PM 6:00 閉講式

- ▶ 全てのカリキュラムを受講された方に、修了バッジと参加証明書をお渡しいたします。
- ▶ 参加証明書は参加を証明するものであり、修了を証明するものではありません。
- ▶ 修了証書は後日、送付いたします。



奈良県診療放射線技師会のホームページでは  
今号の鹿苑ニュースをカラー掲載しています。  
こちらの QR コードからでもご覧いただけます⇒





## 令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修における実技研修 開催報告

教育委員会 委員長  
錦 一聡

奈良県では「令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修における実技研修」を 2023 年 2 月 25 日（土）と 26 日（日）の 2 日間、奈良県立医科大学で開催いたしました。我々スタッフも 2 回目のファシリテーターとしての実技指導ですが、開催場所の違うこともあり不安はありましたが、無事に開催、指導が行えたことに感銘を覚えました。

広報として、奈良県診療放射線技師会ホームページ及び会誌、奈良県会員へのインフォメーションメール告知を行いました。受講申し込み開始日の 1 月 6 日時点で両日の申し込みがほとんど満席となりました。両日合わせて受講者数 94 名、修了証発行対象者数 94 名でした。

内容として、造影剤を使用した検査や核医学検査のために静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為・核医学検査のために放射性医薬品を注入するための装置を接続して当該装置を操作する行為、動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査を含む。）のため注入した造影剤及び空気を吸引する行為、上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為に関して午前中は動画視聴、午後から実技研修を行いました。

今回の実技研修を終えて、COVID-19 感染拡大の影響もある中、他県からの参加者もおられ、皆様の職務に対する意識の高さに感銘を受けております。皆様の熱意にお応えできるように今後も開催を予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。

今回は、日本診療放射線技師会のホームページに開催の掲載がなかったため今後は日本診療放射線技師会ともさらに連絡を取りあい、広く呼びかけができるようにさせていただきます。

今後も奈良県診療放射線技師会の活動を通じて、会員をはじめとした診療放射線技師の皆様に貢献させていただければ幸いです。

最後になりましたが、本セミナー開催のためにご尽力いただきました教育委員、講師の皆様、JART 事務局の皆様に感謝を申し上げ、本実技研修の開催報告とさせていただきます。



## 近畿地域診療放射線技師会学術大会に参加して

医療法人 康仁会 西の京病院  
潮田 眞和

私は今回初めて近畿地域診療放射線技師会学術大会に参加させて頂き、多くのことを学ぶ事ができました。

午前の告示研修では、新人なので静脈路の確保や抜針および止血の行為はまだ早いと思い研修を受けていませんでした。しかし講習を聞いて、医師の負担を減らすためのタスク・シフト/シェアの重要性や専門性を生かせるような業務拡大の重要性が分かりました。自施設でも PET-CT の運用をしており、業務のサポートをしたいと思いすぐに告示研修を受けようと思いました。

次の演題発表では、一般撮影が多い演題発表 A に参加し、一般撮影からロボット PCI まで幅広い発表を聞きました。ポータブルグリッド撮影では画質は変わらず約 20%の被ばく線量の低減ができた研究や、患者の体格によって線量を比較した研究など疑問に思っていたことが分かり、大変勉強になりました。

午後は大鐘先生の特別講演、玉置先生の県民公開講座に参加させて頂きました。  
大鐘先生は昔、がんの告知がタブーとされてきた中で、懸命にがん治療をされてきた事や、ホスピスで死ぬと言ってこられた患者さんを治療された話など、普段では絶対に聞く事ができない貴重な講演が印象的でした。また、近藤先生が提唱された早期がん、転移のないがんは問題ないという「がんもどき理論」などがんの違った見方などをお話し頂き、がんについての考え方は、人それぞれであるということを知りきっかけになりました。

玉置先生のお話しでは、「医療は体の痛みを取り除けるが心の痛みは取り除けない」という言葉は、胸に深く刺さりました。現在、がん患者さんの治療に携わっているのですが、医療で取り除くことができない心の痛みをどうやって取り除くことができるのか、日々考え行動に移して行きたいと思いました。また、自分の命の限りを見た時に、苦悩をもつスピリチュアルペインという言葉は初めて聞きました。明日は当たり前にくるものだという自身の考えを、がん患者さんに押し付けないように細心の注意をはらい、余計な不安感を与えないように気を付けていきたいです。

本学会に参加し、貴重な研究や講演、講座に診療放射線技師の一員として触れることができたこと、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

## 2022 年度レントゲン週間イベント 開催報告

組織委員会 委員長

辻村 恭平

2022 年 11 月 3 日（木） ミ・ナーラ（奈良市）・1F フードコート特設会場にて「レントゲン週間イベント」を開催いたしました。このイベントは、定款第 33 条に基づく公益目的事業であり県民の皆様に対する講演会や体験活動等の実施による、知識の普及啓発事業となります。事業内容としては、超音波を使用した骨密度測定と結果説明、パネルを用いた放射線の知識の普及、医療被ばく相談および画像検査紹介を行いました。新型コロナウイルス感染症が完全に収束していない状況下ですので、基本的な感染対策 1 マスク 2 換気 3 消毒 4 距離を徹底して行いました。特に骨密度測定の結果説明においては、アクリル板を設置して飛沫感染防止に役立てました。スタッフ一同、昨年の来場者数を上回ることを念頭に当日のティッシュ配布、会場前での声かけを元気よく行いました。結果としては午前中疎らでしたが午後になって盛り返し 59 名の方にご来場いただきました。やはり集客には、「骨密度測定」でありなおかつ「無料」というのが大きな効果があると実感しました。

さて現代の医療に目線移してみると、放射線の利用なくしては成り立たない事実が実感できると思います。その最前線にいるのは、私たち診療放射線技師です。放射線の専門知識を正しくお伝えするミッションを任されていますが会員の皆様、いかがでしょうか。それをアピールできるレントゲン週間は、とても大切なイベントと言えますね。新型コロナ感染症は落ち着きつつありますが、今後の感染状況について油断はできません。それを背景に組織委員会の事業としては、新しい形（Web 開催）も推進しておりますが、現地開催には、こだわり続けていきたいと思ひます。

今後とも奈良県診療放射線技師会へのご支援ご協力よろしく願いいたします。文末になりましたが、今年も会場をご提供いただきましたミ・ナーラ様、ご協力いただいた組織委員会委員・外部委員の方々、そして当日の要請に応じていただいた理事の方々、関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。





## 県民公開講座 開催報告

学術委員会 委員長

細川 倫之

令和 5 年 1 月 29 日（日）の午後 2 時から橿原市商工経済会館の 7 階大ホールにて「2022 年度（公社）奈良県診療放射線技師会 県民公開講座」が開催されました。今年のテーマは『小児救急』と今迄とは指向を変え、若い世代の県民の方々に参加していただけるテーマを設定しました。若い世代への案内には橿原市こども未来課へ依頼し、橿原市の公立・私立保育園や認定こども園などに通う園児の家庭に案内を配布させていただきました。また、Web 配信は実施せず、現地参加のみの開催となりましたが新型コロナウイルス感染症を考慮して先着 100 名の人数制限をしての開催となりました。例年なら県民公開講座終了後に奈良県診療放射線技師会親睦新年会を実施していましたが、未だ新型コロナウイルス感染症の終息が見られないため新年会は開催できず、その影響を考えるとどれだけの方が参加していただけるか不安を抱きながら当日を迎えました。

私は、12 時半集合のところ 11 時半頃会場に到着し、講師控室兼スライドチェック室兼スタッフルームの設営を行い、大ホールの設営を始める頃には理事・学術委員が集合、受付・会場の設営、廊下のタペストリー展示などを急ピッチで進め、概ね設営が完了したところに一般参加の方々が来場してこられました。行政の小笠原先生や奈良県立医科大学小児科学教室教授の野上先生も来場されスライドチェック、講師対応をし、いよいよ開始時間となりました。高谷会長からの開会の辞を頂戴し、技師の立場から近畿大学奈良病院の古川理事より放射線検査時の被ばくについてや、今話題の性腺防護のことなどの講義をしていただきました。行政の立場からは奈良県の小児救急のしくみやお子さんの体調がよくないときに参考になるホームページの紹介、相談できる電話窓口などの情報提供をいただきました。医師の立場からは子供によくある症状やこんな時はどうすれば良いのか、熱中症やけがなどの対応方法などの講演を分かりやすく解説していただきました。その後の質問コーナーでは現役の保育士さんからの質問など大いにディスカッションがされ充実した県民公開講座になったと思います。野上先生からは技師、行政、医師、それぞれの立場からの講演構成で非常に良い構成ですねとお褒めの言葉もいただきました。

参加者数は 47 名と期待より少なくなりましたが良い県民公開講座であったと感じています。今後は、ハイブリッド開催や親睦新年会と併用させていただきより多くの方に参加していただけるよう努力していこうと思います。皆様に於きましては是非とも今後の奈良県診療放射線技師会の活動に参加してくださいませよう、よろしくお願いいたします。





## 診療放射線技師の立場から

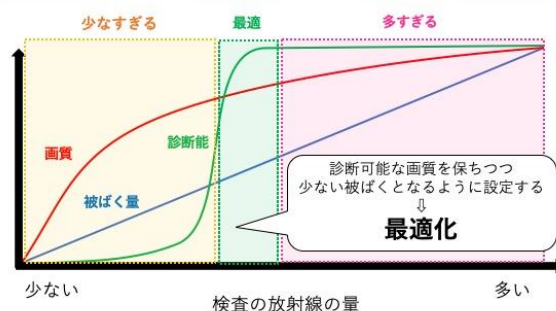
### 「診療放射線技師が関わる小児の画像検査について」

近畿大学奈良病院

古川 卓也

放射線感受性の高い小児では、より重要となる放射線画像検査の正当化・最適化について説明した。最適化では、ただ被ばくを少なくすれば良いのではなく、診断可能な画質を保ちつつ少ない被ばくとなることが重要であり、診療放射線技師が画像検査の最適化に取り組んでいることを知っていただいた。

#### ①正当化と最適化



小児の画像検査について、各検査の被ばく量や所要時間について説明した。保護者の方の心配の種である被ばくについては、患者様からよくいただく質問を例にして、放射線とは何か、どのような仕組みで身体に影響を及ぼすのかについて解説し、画像検査で用いる放射線の量では身体への影響は確認されていないということを知っていただいた。

#### Q 先週もレントゲン検査を受けたけど大丈夫ですか？



放射線が体に溜まっていくんじゃない？

小児に関する最近の動向として、生殖腺防護に関する情報提供を行なった。従来行っていた行為が絶対的に正しいのではなく、様々な研究等で得られた知見から、行為を正当化するための利益とリスクに関する考え方が変化し、それに合わせて医療行為も変わっていくことを知っていただくきっかけになればと思う。

#### 生殖腺防護への考え方の変化

利益 遺伝的影響を最小限にできる	リスク あまりない
<ul style="list-style-type: none"> <li>●過度に心配していたのでは？               <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝的影響は人では確認されていない</li> </ul> </li> <li>●撮影線量がすごく減った               <ul style="list-style-type: none"> <li>・1986年から2018年で1/400に減少</li> </ul> </li> <li>●被ばくは0にはならない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●骨盤内の情報が失われる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な見落としの可能性</li> </ul> </li> <li>●被ばく増加につながる可能性               <ul style="list-style-type: none"> <li>・再撮影によるもの</li> <li>・撮影条件の自動調整</li> </ul> </li> </ul>

## 2022 年度第 5 回定例理事会議事録

日 時：2023 年 1 月 17 日(火) 19 時 08 分～20 時 36 分

場 所：奈良県立医科大学 厳樞会館 大ホール

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051 (代)

出席理事：高谷英明、池口俊孝、小林勝宏、竹中智士、  
野儀明宏、日浦之和、秋山敬純、山田卓実、  
辻村恭平(Web 出席)、玉井宏征、吉田真大、  
高田太輔、錦 一聡、古川卓也(Web 出席)

出席監事：水野吉将、高嶋敏光

欠席理事：竹中智士

会長挨拶：皆様、新年あけましておめでとうございます。  
 去年は技師会事業におきましては多大なるご  
 尽力を頂き、感謝しております。また、創立 70  
 周年記念式典も皆様のご尽力のお陰で無事に  
 執り行う事ができました。池口俊孝委員長をは  
 じめ、理事の皆様、実行委員の皆様に感謝申し  
 上げます。新年を迎えましたが、まだ事業は控  
 えております。本年も宜しくお願い申し上げま  
 す。最後に、新型コロナウイルス感染症は第 8  
 波のさなかに加え、3 年振りのインフルエンザ  
 の流行も報告されております。皆様におかれま  
 しては、引き続き感染対策を十分に講じていた  
 だきますようお願い申し上げます。

定数確認 (第 30 条)

出席理事 14 名、出席監事 2 名、欠席理事 1 名

定款 30 条により、理事会の成立が宣せられた。

議事録作成人ならびに署名人の指名

議 長 (第 31 条)：高谷英明 会長

議 事 録 作 成 人：竹中智士常務理事

議事録署名人 (第 32 条)：水野吉将監事、高嶋敏光監事

## I. 議案 (報告事項)

## 1. 会長報告

## (1) 奈良県関係

① 奈良県臨床検査技師会の後援名義について

## (2) 奈良県診療放射線技師会関係

① 次年度事業計画について

定款第 33 条に基づく 2023 年度事業計画、収支予  
 算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて、  
 皆様の承認を得て県に提出したい。県への提出を円

滑に行うため軽微な変更がある場合は会長・財務理  
 事一任で変更する事に対して承諾をお願いしたい。

② 第 10 回 (通期第 71 回) 通常総会開催について  
 5 月 27 日(土) 第 10 回 (通期第 71 回) 通常総会を  
 奈良県社会福祉センター大会議室において開催す  
 る。

## ③ JJ 合同会議の開催

## 2. 日本診療放射線技師会関係

① 近畿地域診療放射線技師会学術大会について

② アンケート調査について

③ 代議員選挙について

④ 令和 3 年度厚生労働省告示第 273 号研修 (告示  
研修) について

## 【質疑】

高田理事：事業計画書についてですが、いくつか診療の文  
字が抜けております。

高谷会長：修正します。

水野監事：事業計画書の放射線フェスタについて、表記が  
フェスタとフェスタⅡになっているのはよい  
ですか。高谷会長：今までそのように表記しており、フェスタⅠと  
はしていませんでした。高谷会長：県民公開講座について、開催場所が奈良県橿原  
文化会館となっておりますが、他の項目に合わ  
せて橿原市に修正します。

## 【審議事項】

2023 年度事業計画及び定款第 33 条に基づく資金調達及  
 び設備投資の見込みについて

保留【0】反対【0】賛成【12】

\* 細川理事が欠席、秋山理事と池口副会長遅刻のため

## 【他府県からの発行物】

(公社) 日本診療放射線技師会

日本診療放射線技師会誌 2022.12 Vol.69/No.842

日本診療放射線技師会誌 2023. 1 Vol.70/No.843

(一社) 北海道放射線技師会 会報 2023 年 1 月

(公社) 福島県診療放射線技師会

福島放技ニュース VOL.190

福島放技ニュース VOL.191

(公社) 東京都診療放射線技師会

東京放射線 2022 年 12 月号 Vol.69 No.811

東京放射線 2023 年 1 月号 Vol.70 No.812



(公社) 神奈川県放射線技師会 かながわ放射線だより

2022 年 11 月 27 日(日)

KART Vol.75 No.4 Nov.2022 301

第 85 回日本診療放射線技師会臨時総会 Web 参加

(公社) 静岡県放射線技師会

2022 年 12 月 3 日(土)

SHIZUOKA JOURNAL Vol.32 No.2 2021(通巻 215 号)

第 5 回学術委員会 Web 参加 2022 年 12 月 6 日(火)

(公社) 愛知県診療放射線技師会

第 4 回創立 70 周年記念式典記念誌作成会議 Web 参加

会誌 34 巻 第 2 号 (通巻 170 号)

2022 年 12 月 8 日(火)

(公社) 福岡県診療放射線技師会 会誌 第 351 号

第 4 回安全管理委員会 Web 参加 2022 年 12 月 20 日(火)

<近畿地域診療放射線技師会関係>

【小林副会長】

【発行物】

創立 70 周年記念式典司会打合わせ Web 参加

(公社) 京都府放射線技師会

2022 年 11 月 17 日(木)

京放技ニュース 12/2022 通算 751 号

創立 70 周年記念式典 ホテル日航奈良

京放技ニュース 1/2023 通算 752 号

2022 年 11 月 19 日(土)

(公社) 大阪府診療放射線技師会 大放技会報 No.347

奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022

(公社) 兵庫県放射線技師会

橿原市商工経済会館 7 階大ホール

HRAT 12 2022.12.1 Vol.82-2

2022 年 11 月 27 日(日)

<医療関連団体関係>

第 85 回日本診療放射線技師会臨時総会 Web 参加

【発行物】

2022 年 12 月 3 日(土)

(一社) 奈良県医師会

第 4 回創立 70 周年記念式典記念誌作成会議 Web 参加

奈良県医師新報 vol.850 November. 2022

2022 年 12 月 8 日(火)

vol.851 December. 2022

第 4 回安全管理委員会 Web 参加 2022 年 12 月 20 日(火)

(一社) 奈良県薬剤師会 会誌 第 193 号

第 5 回組織委員会 Web 参加 2022 年 12 月 21 日(水)

(公社) 日本歯科技工士会

II. 常設委員会

「日本歯技」 12 December 2022 第 642 号

1. 総務関連事項 (竹中智士常務理事)

「日本歯技」 1 January 2023 第 643 号

11 月 9 日から 1 月 8 日まで

(公財) 結核予防会

(1) 新入会員 2 件 : 76780、76815

結核・肺疾患予防のための複十字 No.406

(2) 退会 3 件 : 44574、33933、64347

No.407

(3) 転入 0 件

(一社) 奈良県臨床検査技師会

(4) 転出 0 件

奈臨技 ニュース No.341 NOV.2022

(5) 異動 11 件

千代田テクノル FB News 2022 12 No.552

(6) 新規施設登録 0 件

FB News 2023 1 No.553

(7) 施設情報変更 0 件

奈良県社会福祉協議会

(8) 賛助会員 1 件

奈良県福祉だより 2022 No.559

シーメンスヘルスケア株式会社 担当者変更

3. 副会長の活動報告

(9) 慶事・弔事 2 件

【池口副会長】

創立 70 周年記念式典司会打合わせ Web 参加

・ 慶事 1 件

・ 弔事 1 件

2022 年 11 月 17 日(木)

(10) 会員数

創立 70 周年記念式典 ホテル日航奈良

(公社) 奈良県診療放射線技師会正会員 446 名

2022 年 11 月 19 日(土)

奈良県のみ 2 名含む

奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022

(11 月 8 日 第 4 回定例理事会報告時 447 名)

橿原市商工経済会館 7 階大ホール

備考 : 公益社団法人日本診療放射線技師会関連

奈良県会員 444名 仮会員0名 (1月8日現在)

(11)イベント・カウント申請、完了

### ① 申請

12月1日 奈良 CT Conference

12月 Web 特別記念講演会(12/3)

12月16日 令和4年度 漏洩線量測定講習会(1/21)

2022年度(公社)奈良県診療放射線技師会

県民公開講座(1/29)

12月27日 告示研修(実技研修)

奈良県 2023/2/25 (2/25)

奈良県 2023/2/26 (2/26)

### ② 完了

12月1日 公益社団法人奈良県診療放射線技師会

学術大会 2022 (11/27)

12月9日 奈良 CT Conference

12月 Web 特別記念講演会(12/3)

(12)その他

【質疑】なし 【審議事項】なし

## 2. 財務関連事項(山田卓実財務委員長)

### (1) 中間報告

2022年度 1月1日 現在 会計中間報告									
科目	公益目的事業会計								
	公1			公2			公3		
	県民に対する講演会、 知事の普及啓発事業			研究調査及び指導、 職業倫理の養成を支援			図書刊行物の発行及び ホームページにおける		
経費費用	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執行率
事業費									
会費費	100,000	170,500	171%	100,000	123,667	124%	0		
旅費交通費	100,000	9,660	10%	100,000	0	0%	0		
通信運搬費	100,000	14,020	14%	100,000	0	0%	150,000	212,215	141%
消耗品費	50,000	14,995	30%	50,000	0	0%	117,430		
印刷製本費	150,000	0	0%	150,000	0	0%	800,000	555,500	70%
賃借料	0	0	###	0	0	0	0		
報酬金	800,000	0	0%	400,000	0	0%	0		
支払手数料	0	0	###	0	0	###	50,000	2,225	4%
会議費	0	0	###	0	0	0	0		
福利厚生費	0	0	###	0	0	0	0		
研究助成費	0	0	0	0	0	0	0		
雑費	0	0	###	0	0	###	0		
経費費用									
事業費									
会費費	0			0			0		
旅費交通費	0			0			0		
通信運搬費	0			0			0		
消耗品費	0			0			0		
印刷製本費	0			0			0		
賃借料	0			0			0		
報酬金	0			0			0		
支払手数料	0			0			0		
会議費	0			0			0		
福利厚生費	0			0			0		
研究助成費	0			100,000		0%	0		
雑費	0	37,494		0			0	35,466	

科目	法人会計		予算 執行率
管理費	予算額	支出額	
総会費	50,000	0	0%
旅費交通費	150,000	81,420	54%
通信運搬費	100,000	92,885	93%
消耗品費	100,000	10,721	11%
印刷製本費	100,000	195,000	195%
支払手数料	100,000	3,870	4%
雑費	200,000	826,085	413%

【質疑】なし 【審議事項】なし

## 3. 学術関連事項(細川倫之学術委員長)

### (1) 奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022 について

#### ① 開催報告

イベント開催報告書				公益社団法人奈良県診療放射線技師会	
委員会	学術	イベント名	奈良県診療放射線技師会学術大会2022	会場参加(会員・非会員)	54名
報告者	細川倫之	日時	令和4年11月27日	Web参加(会員・非会員)	52名
		場所	橿原市商工経済会館	ポスター・チラシ・写真等掲載欄	
プログラム・内容: ・会員研究発表 ・教育講演 「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する事について」 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課 電離放射線 労働者健康対策室 健康疫学専門官 成澤 孝 先生 シンポジウム 1部「当院におけるDRGsを活用した術者被ばく低減に向けた取り組み」 市立奈良病院 秋山 敬純 2部「一般撮影の術者被ばくを考える」 高井病院 土井 司 3部「患者被ばく:小児の性腺防護」 田北病院 小林 勝宏 4部「患者被ばく:DRGsを踏まえて」 天理よづ相談所病院 宮西 忠史				コメント: 配信会社に依頼せず、自分たちのみでZoomのウェビナーを使用し、本格的なハイブリッド開催を実現した。大きなトラブルはなく、無事最後まで開催することができたことは大きな自信とつながる。	

#### 決 算 :

	科 目	本年度予算	本年度決算
収入	参加費	10,000	2,198
	事業対策費	222,679	201,106
	計	232,679	203,304
支出	会場費 会場使用料・会場備品費	92,977	92,977
	Web 開催費用	22,880	21,400
	講師謝金(座長、シボシスト)	26,000	26,110
	交通費(理事・学術委員)	20,000	11,780
	会議費(予行演習会議)	30,690	30,690
	印刷費(ポスター・垂れ幕)	12,132	4,632
	通信費	0	0
	雑費	28,000	15,715
	計	232,679	203,304

収支差額: 29,375

### ② 反省点

- ア Web 視聴者の参加時の名前がアルファベット一文字など、誰が参加しているか分からない状況が発生した。→ ウェビナーの登録必須機能を使用すると解決可。今回参加確認が取れていない方全員に参加したかの確認メールを送り対応した。
- イ 参加証、次演者貼紙、演者・座長用時計、マイクの数、PCの数など準備不足あり。
- ウ 106名の参加で会員全体の1/4であった。今後開催曜日やオンデマンド配信などを考慮し、多くの会員に参加していただける学術大会を目指したい。

### (2) 県民公開講座について

開催日時: 2023年1月29日(日) 14:00~17:00

開催場所: 橿原市商工経済会館 7階大ホール

テーマ: 「小児救急」

講師構成:

【診療放射線技師の立場から】

近畿大学奈良病院放射線部 古川 卓也

【行政の立場から】

奈良県福祉医療部医療政策局地域医療連携課



小笠原 萌 先生

## 【医師の立場から】

奈良県立医科大学 小児科学教室

教授 野上 恵嗣 先生

プログラム：別途資料参照

予 算 案：

	科 目	2019 年度決 算	本年度予算
収入	参加費	—	—
	事業対策費	304,106	276,472
	計	304,106	281,794
支出	会場費 会場使用料	46,310	85,800
	文化会館・宏陽舞台 会場備品費	94,260	14,850
	展示パネル	30,000	
	謝金（講師・座長）	48,000	61,000
	交通費（理事、学術委員）	8,160	10,000
	昼食費（理事：15 名，学術委員：6 名）	16,827	21,000
	印刷費	28,020	59,144
	通信費	15,204	20,000
	雑費	885	10,000
	計	304,106	281,794

## 会場費内訳

大ホール（13 時～17 時、日祝 2 割増）55,000×1.2 66,000  
 17 時以降延長 1 時間×日祝 2 割増 16,500×1.2 19,800  
 計 85,800

## 会場備品内訳

有線マイク 2 本 1,100×2 2,200  
 無線マイク 3 本 1,100×3 3,300  
 音響設備 2,200  
 プロジェクター 6,050  
 スクリーン（230 インチ）1,100  
 計 14,850

## 講師謝金内訳

講師・座長（交通費込み）50,000×1 5,000×1 座長 3,000×2 61,000  
 計 61,000

## 大会当日交通費内訳

理事・学術委員 10,000  
 計 10,000

## 昼食費内訳

理事（15 名）・学術委員（6 名）1,000×21 21,000  
 計 21,000

## 印刷費内訳

ポスター 4,000 枚 10,644  
 抄録集 35,000  
 名札 2,500  
 看板・垂れ幕 11,000  
 計 59,144

## 通信費内訳

ポスター郵送費 20,000  
 計 20,000

## 雑費内訳

お茶・水 1,000  
 当日出費（文具、駐車場代等）9,000  
 計 10,000

## (3) 2023 年度 奈ラーニングについて

開催日時：未定

開催場所：未定

テ ー マ：学術委員で選考中

【質疑】なし

【審議事項】

2022 年度（公社）奈良県診療放射線技師会県民公開講座  
 予算案について 保留【0】反対【0】賛成【12】

\*細川理事が欠席、古川理事が離席、池口副会長遅刻

## 4. 教育関連事項（錦 一聡教育委員長）

## (1) 日本診療放射線技師会関係

## ① 告示研修（実技研修）

奈良県 2023.02.25 日/26 日(3・4 回目開催)

開催場所：奈良県立医科大学

開催日時：

2022 年 2 月 25 日（土） 9：00～18：00(3 回目)

2022 年 2 月 26 日（日） 9：00～18：00(4 回目)

定 員：48 名(計：96 名)

募集期間：

2023 年 1 月 13 日(金)～2023 年 2 月 10 日(金)\*両日

広 報：会員へのインフォメーションメール済

ホームページ掲載済

予 算 案：

	科 目	奈良県 2022.02.25 (3 回目) 予算	奈良県 2022.02.26 (4 回目) 予算
収入	事業対策費	28,000	28,000
	講師料 (JART)	184,000	184,000
	会場費・設備使用料 (JART)	0	0
	計	202,000	202,000
支出	講師料 (JART)	184,000	184,000
	雑費 (奈良県)	11,000	11,000
	講師料 (奈良県)	17,000	17,000
	会場費・設備使用料 (JART)	0	0
	計	202,000	202,000
収支		0	0

\*雑費内訳：弁当・お茶（講師・スタッフ）

本来は JART 請求になるが、経理関係手続上 3 月の返  
 金に間に合わないため

\*講師料：開催責任者及びスタッフ分の補填(ファシリ  
 テータ講習受講済)

ファシリテータ：前回同様の担当者とする。

役割に一部変更あり。

静脈：山田卓実

静脈その他：小林勝宏

静脈 RI：池口俊孝

上部消化管：吉田真大

下部消化管：高谷英明

動脈：野儀明宏

開催責任者：錦一聡

スタッフ：日浦之和

## ②近畿地域教育委員会

12/4 R4 年度教育委員幹事会議

\*来年度の告示研研修開催要項に変更あり

## (2) 奈良県診療放射線技師会関係

## ①漏洩線量測定講習会

開催場所：(公財)天理よろづ相談所病院 外来棟

放射線部 4F、講堂 5F

開催日時：2023 年 01 月 21 日(土) 14:00～16:00

定 員：20 名

募集期間：2022 年 11 月下旬～

定員に達したら HP で締切を伝達

広 報：会員へのインフォメーションメール済

ホームページ掲載済

講 師：講義 酒井昭宏（千代田テクノル）

実技 高谷英明・旭 合力（国保中央病院）

予 算 案：

	科目	2018 年度決算	2022 年度予算
収入	事業対策費	20,700	12,180
支出	講師謝金	20,000	10,000
	スタッフ交通費	700	2,180
収支		0	0

## 【質疑】

日浦理事：告示研修について、統一講習会未受講者が一週間申し込めないことへの措置はどうなっていますか。いつまで経っても申し込めないのですが。

高谷会長：まだ何も進捗がありません。来月の近畿の会長副会長会議で確認してみます。

日浦理事：前はシステム上難しく調整中であるとのことでしたが、現場でのタスクシフトシェアがなかなか進みません。

## 【審議事項】 なし

## 5. 広報関連事項（高田太輔広報委員長）

## (1) 鹿苑ニュース No.287 発行

1 月 10 日入稿 1 月 17 日頃 発送予定

## (2) 技師長会議の案内（県内 77 施設） 作成・発送

## (3) 県民公開講座の案内（個人 193 通、県内 77 施設）

作成・発送

## (4) 鹿苑ニュース No.288 発行準備：3 月発行予定

巻頭言、イベント開催案内など（締切：2 月末）

## (5) ホームページ関連（秋山敬純委員長）

2022 年 12 月 1 日

漏洩線量測定講習会 開催のお知らせ

2022 年 12 月 14 日

県民公開講座 開催のお知らせ

2022 年 12 月 24 日

## 第 25 回 近畿救急撮影セミナーのご案内

2022 年 12 月 30 日

技師法改正に伴う告示研修（実技研修）のご案内

2023 年 1 月 8 日

近畿地域診療放射線技師会学術大会「働き方改革」

パネルディスカッション質問募集 ご案内

2023 年 1 月 13 日

退会のご案内

以上掲載しました。（1 月 15 日現在）

## 【質疑】

高谷会長：県民公開講座のダイレクトメール停止依頼がきておりましたので、ご対応をお願いします。  
また、インフォメールに関してもアドレス不明のものがありますので、何か対策を考えていただきますようお願いいたします。

## 【審議事項】 なし

## 6. 福利厚生関連事項（玉井宏征福利厚生委員長）

## (1) 2022 年度厚生事業について

## ①第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会（和歌山県）

日 時：2022年11月23日（木曜日：祝日）

場 所：貴志川スポーツ公園 野球場

（紀の川市貴志川町井ノ口 1411-10）

雨天のため中止

## (2) 新年情報交換会について

コロナ感染の状況により中止とする。

## 【質疑】なし 【審議事項】なし

## 6. 安全管理関連事項（吉田真大安全管理委員長）

## (1) 医療安全(主担当：池口副会長)

## ① 医療安全ネットワーク会議

11/22(火)「コロナ陽性患者が一般病棟に入院した事例」  
について開催（参加者 1 名）

12/21(火)「非常用通路からの離棟事例」について開催  
（参加者なし）

## ② 医療安全をテーマにした研修会を行う

ア CT 造影検査の際の血管外漏出について

イ MRI 検査時の医療安全について

（金属類の持ち込みなど）

## (2) 原子力災害時対応（主担当：小林副会長）

① 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会  
について

2023 年 3 月 4 日に開催予定

案内は 1 月の鹿苑ニュースで掲載



## 予算案：

日時：2023年3月4日（土） 14:00～16:00 受付13:30～

場所：奈良県立医科大学附属病院 臨床研修センター 1階カンファレンス室

	科目	2020年度予算	2020年度決算	本年度予算	備考
収入	事業対策費	¥55,000	¥34,840	¥40,000	
	参加費	¥10,000	¥0	¥5,000	
	計	¥65,000	¥34,840	¥45,000	
支出	会場費	¥0	¥6,720	¥0	
	旅費交通費（スタッフ）	¥5,000	¥520	¥3,000	
	通信運搬費	¥0	¥0	¥0	
	消耗品費（材料費）線源	¥10,000	¥0	¥10,000	
	タイベックスーツ	¥40,000	¥15,600	¥20,000	
	諸謝金（講師料）	¥10,000	¥12,000	¥12,000	
	計	¥65,000	¥34,840	¥45,000	

## (3) 災害対策・対応（主担当：葛和外部委員）

- ① 既存の JART マニュアルに沿って奈良モデル（奈放技版 DCP）を作成していく

進捗なし

## (4) その他

- ① 広報活動

安全委員会日より Vol.7（マネジメント学会広報）を  
鹿苑ニュースに掲載

- ② 被ばくガイドブックのアップデートについて

ガイドブックをアップデートさせるためにまずは、内  
容を確認し、どのくらい変更点や改定する内容がある  
かピックアップしてみる。ピックアップするにしても  
どういうところ重点的に確認するか検討していく。

【質疑】なし

【審議事項】

令和 4 年度 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関す  
る研修会の予算案について 保留【0】反対【0】賛成【13】

\* 細川理事欠席、池口副会長遅刻のため

## 7. 組織関連事項（辻村恭平組織委員長）

- (1) 公式ラインを使用した広報活動について

- ①公式ラインの原案を作成済み（高田委員担当）。

組織委員には、試用を配信。

- ②料金体系の変更あり（無料メッセージ数 1,000→200）

- ③今年度中に高田理事を中心に運用案をまとめる。

- (2) 技師長会議の現状報告

- ①11 月下旬に各施設宛てに郵送。

- ②Web での回答を第 5 回組織委員会で確認した。（12  
月末日締切）回答を精査して組織委員で、集約して  
次年度、会議開催に向けてすすめる方向。

- (3) 奈放技の標記変更に伴うタペストリー修正について

- ①当初、今年度中に修正し、更新したタペストリーを  
完成させる予定

- ②今年度予算の都合上タペストリーの更新は次年度以  
降になる。

- ③ポスター作成委員会を行う場合、「現地集合形式で開  
催したい」と山口委員から要望あり。新型コロナの  
感染状況を見て判断する。

のぼり決算書：

	科 目	本年度予算	本年度決算
収入		—	—
	事業対策費	51,700	52,145
	計	51,700	52,145
支出	会場費	0	0
	賃借料	0	0
	講師謝金	0	0
	旅費交通費	0	0
	消耗品費	0	0
	データ作成費	22,000	22,000
	印刷製本費	29,700	29,700
	通信費	0	0
	雑費	0	0
	振込手数料		445
	計	51,700	52,145

【質疑】

高谷会長：タペストリーの変更時期についてはいつに  
なりますか。

辻村理事：8 月くらいです。

秋山理事：タペストリーについてですが、来年度変更にな  
るとそのあとまたすぐに変更になる可能性が  
ありますので、時期についてはよく検討する必  
要があります。

高谷会長：様々な検討事項があると思います。

日浦理事：ラインの公式アカウントについてですが、200  
通だとすぐなくなってしまいます。そうなれ  
ば、料金プランを上げて対応するのでしょうか。

高田理事：運用が決まればそうなるかもしれませんが、今  
は足踏みをしています。組織事業等イベントは  
インフォメールで事足りている状況で、ライン  
を月 5000 円程度で使用するほどの価値がある  
のか、私も検討中です。

高谷会長：ラインはメールよりも手軽に情報が取れるメ  
リットがあります。しかし、費用に見合うか  
どうか、運用方法含め検討が必要です。

【審議事項】なし

## Ⅲ. 特別委員会

## 1. 創立 70 周年記念事業

開催日時：2022 年 11 月 19 日（土）14:00～17:30

テ ー マ : 「たゆまぬ進化、さらなる真価」

場 所 : ホテル日航奈良 4 階 飛天の間

### ・参加者数

創立 70 周年記念式典			運営	
	出席者数	芳名帳記帳数	当会監事	2
来賓	31	27	当会理事	13
表彰	13	7	当日実行委員	20
賛助	10	10	司会 (ホテル)	1
会員	10	9	合計 B	36
一般	10	10		
合計 A	74	63	総計 (A+B-7)	103
* 表彰 10 名の内、当会監事 1 名、理事 4 名、当日実行委員 1 名				
* 会員 10 名の内、当日実行委員 1 名				

・ 祝電 16 通 (内、台湾 4 通)

・ 祝花 5 基 (内、台湾 4 基)

イベント開催報告書				公益社団法人奈良県診療放射線技師会	
委員会	教育委員会	イベント名	創立70周年記念式典	会員(無料)	62名
報告者	池口 俊孝	日時	2022年11月19日 14:00~17:30	非会員(¥0)・一般市民	41名
		場所	日航ホテル奈良 飛天の間	ポスター・チラシ・写真等掲載欄	
<p>プログラム・内容:</p> <p>14:00~15:00 一般公開講座 「酒の神が鎮まる地 奈良県三輪の歴史とみろの酒造り」 今西酒造株式会社 十四代蔵主 今西 将之氏</p> <p>15:20~15:50 特別講演 「診療放射線技師の将来と役割」 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦氏</p> <p>16:00~17:30 記念式典 来賓挨拶・来賓紹介 表彰式 医療業務等功労者知事表彰・会長功労表彰・在籍20年表彰 特別功労感謝状・感謝状</p>					
<p>コメント:</p> <p>一般公開講座は、一般の方もご入場いただき、今西氏にご講演いただいた。 特別講演はJART上田会長にビデオメッセージでご講演いただいた。 知事、代議士をはじめ、多くのご来賓の方のご出席を賜り、出席者合計103名の皆様と共に盛大にお祝いすることができた。</p>					

【質疑】なし 【審議事項】なし

2. 事務所移転に関する検討委員会 報告事項なし

IV. 常置委員会

1. 定款改正委員会 (水野吉将委員長)

会費納入規定の見直しの為、委員会開催予定

2. 表彰委員会 (小林勝宏委員長) 報告事項なし

3. 海外交流委員長 (池口俊孝委員長) 報告事項なし

4. その他 なし

V. 審議事項まとめ

2023 年度事業計画及び定款第 33 条に基づく資金調達及び設備投資の見込みについて

保留【0】反対【0】賛成【12】

\*細川理事が欠席、秋山理事と池口副会長遅刻のため  
2022 年度 (公社) 奈良県診療放射線技師会県民公開講座  
予算案について 保留【0】反対【0】賛成【12】

\*細川理事が欠席、古川理事が離席、池口副会長遅刻  
令和 4 年度 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する  
研修会の予算案について

保留【0】反対【0】賛成【13】

\*細川理事欠席、池口副会長遅刻のため

VI. 経過事項

奈良県診療放射線技師会学術大会 2022 予行演習

11 月 17 日(木)

創立 70 周年記念式典

11 月 19 日(土)

奈良県診療放射線技師会学術大会 2022

11 月 27 日(日)

第 85 回日本診療放射線技師会臨時総会 Web 開催

12 月 3 日(土)

第 5 回学術委員会 Web 参加

12 月 6 日(火)

第 4 回創立 70 周年記念式典記念誌作成会議

Web 開催 12 月 8 日(火)

第 4 回安全管理委員会 Web 開催

12 月 20 日(火)

第 5 回組織委員会 Web 開催

12 月 21 日(水)

第 3 回 JJ 合同会議 Web 開催

1 月 15 日(日)

VII. 今後の予定

漏洩線量測定講習会 (公財)天理よろづ相談所病院

外来棟 放射線部 4F、講堂 5F 1 月 21 日(土)

県民公開講座「小児救急」

1 月 29 日(日)

令和 4 年度第 2 回近畿地域診療放射線技師会

会長・副会長会議 ピアザ淡海 305 会議室 2 月 11 日(土)

令和 4 年度近畿地域診療放射線技師会学術大会

ピアザ淡海 2 月 12 日(日)

診療放射線技師法一部改正に伴う令和 3 年厚生労働省告示  
第 273 号研修における実技研修

2 月 25 日(土)・26 日(日)

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会につ  
いて 3 月 4 日(土)

VIII. 次回理事会について

2022 年度 第 6 回定例理事会

2023 年 3 月 14 日(火) 19 時 00 分～

場所: 奈良県立医科大学 厳樞会館 大ホール

※尚、COVID-19 の影響により Web 開催の可能性もある  
以上

この議事が正確であることを証するために議長及び議事  
録署名人は記名捺印する。

2023 年 1 月 17 日(火)

議 長 会長 (代表理事) 高谷 英明 印

議事録署名人 水野 吉将 印

高嶋 敏光 印

奈良県橿原市兵部町 2 番 9 号フレガビル 4F

公益社団法人 奈良県診療放射線技師会